

ごあいさつ



昭和 51 年（1976 年）4 月 1 日に本財団が発足して以来、皆様には本財団の諸事業につきまして多大なるご理解とご支援をいただき、心よりお礼申し上げます。今後とも広島市との連携のもと、被爆体験の継承、平和の推進及び国際交流・協力の促進を図り、平和を願う世界の人々及び団体との協働に積極的に取り組んでまいります。

広島市は平成 23 年（2011 年）に、基本コンセプト「世界に誇れる『まち』の実現に向けて」を策定し、その後、具体的な施策を盛り込んだ総合戦略を策定しています。平和に関する取組につきましては、施策の大きな柱の一つとして、「『平和への願い』を世界中に広げるまちづくり」を掲げ、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現、「ヒロシマの心」の共有の推進、さらには世界の平和と人権問題の解決など市民生活の安寧の確保に向けた貢献を図っています。

こうした中、本財団は、世界の 8,400 を超える都市が加盟する平和首長会議と共に、核兵器のない平和な世界の実現に向けた様々な活動に取り組んでいます。引き続き、「持続可能な世界に向けた平和的な変革のためのビジョン（PX ビジョン）」に掲げた「核兵器のない世界の実現」、「安全で活力のある都市の実現」、「平和文化の振興」の三つの目標に向けて、加盟都市と連携しながら、一層の取組強化を図ってまいります。

被爆体験の継承のための取組につきましては、これまでの被爆体験証言者や被爆体験伝承者による講話に加え、昨年度から新たに開始した家族伝承者による講話や、各分野のボランティアや若者が主体となる取組、国内外での原爆・平和展の開催などにより、幅広い場面で被爆の実相を伝えていきます。

また、異文化に対する相互理解を深めることが平和な世界を創るための第一歩であることから、「国際フェスタ」の開催や、海外の 6 つの姉妹・友好都市ごとの「姉妹・友好都市の日」記念イベントの開催などを通して、国際交流の一層の促進と市民の国際意識の高揚を図りたいと考えています。さらには、多文化共生のまちづくりの推進のため、外国人相談窓口の運営や、日本語能力向上を支援する日本語講座の開設、日本の文化や習慣を理解してもらうための取組を進めていきます。

引き続き皆様のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

令和 6 年（2024 年）8 月

公益財団法人 広島平和文化センター

会長 まつ い かず み
松 井 一 實